

# MEIJI MURA

明治村だより

2021 Summer

Vol.103



## CONTENTS

明治村の建築にみる日本近代青春群像物語 2 …02

理化学実験場ができるまで 1 …04

A La Meiji-Mura

天井にみる建築家・武田五一の数寄ごころ …06

## 博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

### 1. 法人会員の種類と会費 (各1口あたり、消費税込)

- 一般会員 10万円
- ゴールド会員 100万円

### 2. 会費の用途

明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。

### 3. 会員期間

入会日より1年間  
(入会月の翌年当月末日まで)

### 4. 会員の特典

- 会員証(記名式)の発行
- 招待券の贈呈
- 刊行物等の贈呈
- 芳名の掲示
- 法人名の銘板付きベンチの設置  
(ゴールド会員のみ)

### 5. 問い合わせ先

公益財団法人明治村 協賛担当  
住所:〒484-0000  
愛知県犬山市字内山1番地  
TEL:0568-67-0314  
E-mail:meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp

協賛会員 (令和3年1月31日現在)

敬称略:五十音順

### ゴールド会員

大成建設株式会社

矢作建設工業株式会社

### 一般会員

アイカ工業株式会社

株式会社アシスト

株式会社伊藤園

株式会社エイムクリエイツ

株式会社大林組

株式会社関電工

コクヨマーケティング株式会社

佐藤工業株式会社

柴山コンサルタント株式会社

株式会社銭高組

大成ユーレック株式会社

株式会社谷澤総合鑑定所

鉄建建設株式会社

飛鳥建設株式会社

西松建設株式会社

株式会社長谷工コーポレーション

株式会社フジタ

前田建設工業株式会社

三菱商事株式会社

名鉄E1エンジニア株式会社

株式会社ヤシマキザイ

若松物産株式会社

株式会社アイチケン

厚見建設工業株式会社

伊藤忠商事株式会社

株式会社NTTドコモ

岡谷鋼機株式会社

麒麟ビール株式会社

五洋建設株式会社

三幸エステート株式会社

清水建設株式会社

株式会社扇港電機

ダイドードリンコ株式会社

株式会社丹青社

東京海上日動火災保険株式会社

名古屋トヨペット株式会社

株式会社日建設計

ビジネスコミュニケーション株式会社

株式会社不動テトラ

三井住友海上火災保険株式会社

三菱電機株式会社

名鉄環境造園株式会社

ユーシーシーフーズ株式会社

アサヒ飲料株式会社

株式会社安藤・間

因幡電機産業株式会社

株式会社NTTファシリティーズ

株式会社オノコム

株式会社熊谷組

株式会社サイマックス

サントリーコーポレートビジネス株式会社

株式会社新高土木

ダイキン工業株式会社

大日本印刷株式会社

中京テレビ放送株式会社

東洋電機製造株式会社

一般社団法人ナゴヤハウジングセンター

日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

株式会社日立製作所

ホーチキ株式会社

三井不動産株式会社

三菱ふそうトラック・バス株式会社

名鉄ビルディング管理株式会社

リコージャパン株式会社

アサヒビール株式会社

株式会社磯部組

株式会社魚津社寺工務店

株式会社大塚商会

鹿島建設株式会社

株式会社鴻池組

サッポロビール株式会社

株式会社シーイーテック

株式会社スペース

大興建設株式会社

株式会社竹中工務店

中部スターツ株式会社

戸田建設株式会社

西日本電信電話株式会社

能美防災株式会社

株式会社ファミリーマート

ポッカサッポロフード&ビレッジ株式会社

三井不動産ビルマネジメント株式会社

名高土木株式会社

株式会社森本組

株式会社ローソン

表紙について 夏の終わり/撮影:長谷川能文  
金沢監獄中央看守所・監房 建設:明治40(1907)年

「明治村だより」第103号(令和3年 夏号) 令和3年7月14日発行

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市字内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」  
第104号発行のお知らせ

発行時期 令和3年9月中旬予定  
申込方法 「明治村だより」第104号ご希望の旨およびご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申込みください。

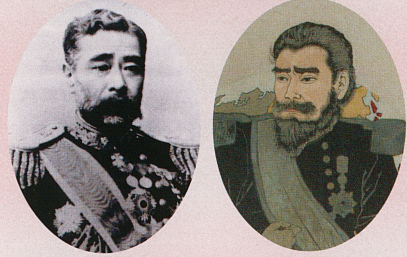
# 初期木造洋館ベランダの華やぐ意匠と二重化の謎 (上)

館長 中川 武

## 西郷従道の立ち位置と西郷従道邸

西郷従道は天保十四(一八四三)年に生まれ、幼くして島津藩士に茶坊主として仕え、十七歳で還俗、上洛後官軍として戊辰戦争にも参戦した。

彼の経歴として維新後の明治二(一八六九)年に欧州巡視の経験を得たことが大きかったのかもしれない。欧州人脈を広げ、明治政府の開明的政策にも貢献し、陸軍中将、近衛都督を経て、特命全権公使としてイタリヤ駐在の予定であったが、明治十一年五月に大久保利通が襲撃、殺害され、急遽イタリヤ行は中止、参議兼文部卿を経て、海軍、内務などの大臣を二十年間ほど歴任し、明治三十五年、五十九歳で病没している<sup>註1</sup>。



西郷従道

西郷隆盛

大まかな経歴を辿るだけで従

道はそれなり、というより大変な活躍をした人物であることがわかる。ここでは一般的な偉人伝の枠組みを超えて、彼の生涯と彼の上目黒の邸宅(博物館明治村へ移築された西郷従道邸以下、従道邸と略す)とのかかわりに注目していきたい。

従道邸が明治村へ移築される前の旧所在地は、目黒区上目黒で、当初十四万坪の広大な敷地であったという<sup>註2</sup>。その後昭和十五年に西郷家は、規模は縮小するが約三千坪の宅地と約二千坪の敷地を残して、箱根土地会社(後の(株)コクド、現(株)プリンスホテル)に売却し<sup>註3</sup>、移築前には当時の国鉄の所有となっていた<sup>註4</sup>。

周知のように、かつて江戸城を中心に山の手と呼ばれる台地状の地区に大名抱屋敷があったが、明治政府高官にはその跡地が払い下げられ、従道は永田町二丁目十八番地に本邸を構えることになった。ちなみに隆盛は日本橋小網町に約五百坪を取得し、その半分を宅地としたという。

従道は、当時は郊外地であった港区南青山七丁目目、一万七千余坪の山林茶園を購入した。明治四年に再度上京した隆盛は、日本橋より閑雅なこの青山の地に時々静養に来てい

ている。彼は土地や普請に多大の関心を持っていたように見えるが、明治期の政経・官の有力者たちにとっては、複数の別荘・土地株式の所有はそれほど特別の事ではなかったと思われる。いくつもの兼職の各々にかんがりの俸給が支払われ、公有地の払い下げもまた有利な取引だったと考えられるからである。

従道に特殊があったとしたら、彼が高位の軍人として台湾などに征討し、高額の御下賜金を賜ったと言われていることである。しかし、いずれにしろ明治期上流住宅の経済的基盤として特別なことではない。従道の身近な親族からの聞き書きではあるが、「もう一度隆盛と一緒に住みたい」という従道の願望が、目黒の庭園と住宅入手への強い動機になったと証言されていることは注目に値する<sup>註7</sup>。この問題を建築を通して考えてみたい。

## 明治初期木造洋館と従道邸の建築的特色

一八五三(嘉永六)年七月のアメリカ・ペリー艦隊の浦賀来航は幕末明治初期の日本に大きな影響を及ぼした。長崎、横浜など五つの開港地には外国人居留地と専用住宅がつくられ、当初は木造が多く造られ、西洋人建

築家が技術者によって設計されたものと、西洋式の住宅や建物を体験した日本人の伝統的大工棟梁が、見様見真似か、自らの想像力を最大限に膨らませて、設計したもの(これを擬洋風、または開化式と呼ぶ)に分かれる<sup>註8</sup>。実際の施工は、いずれも幕末期までに日本全国にまで発展、普及した伝統的木造大工技術、つまり普通の町場の大工の手で担われたものだった。

長崎湾を見下ろす南山手にあつて、よく知られた旧グラバー住宅は、現存する洋館では最古のものである<sup>註9</sup>。木造平屋建てであり、ベランダの屋根が瓦葺の上に庇柱が太い丸柱で、アーチ形のスパンドレル(垂れ壁)となっており、天井が透かし菱組となっていることも合わせて、このベランダが東南アジアで発展したと言われるコロニアルスタイルを特徴づけている。

旧グラバー住宅は多角形平面の部屋の空間を外に連続的に拡張したもので、このベランダの躍動的で、透かし菱組天井も軽快さの点で従道邸のベランダ<sup>写真5</sup>と通底する要素もなきにしもあらずであるが、両者の間には、創建年として、旧グラバー住宅が一八六三(文久三)年<sup>註10</sup>で、西郷従道邸が一八八〇年<sup>註11</sup>だから、十七年の違いであるが、建築の性格とし

たという<sup>註12</sup>。同年十一月から明治六年前半は、岩倉・大久保・木戸・伊藤などの明治政府重鎮が外遊中であり、隆盛は留守政府の要職を担っていたが、やがて官を辞し、東京を去ってしまう。

ちょうど同じ頃、政府高官の間で話題に

なっていた上目黒の土地が売り出されており、明治七年に従道がこれを破格の値で入手した<sup>註13</sup>。このことが周辺の地主たちの土地売却熱を高め、従道は次々と土地を買い足し、やがて十四万坪にもなったとのこと。

隆盛は藩主島津斉彬に江戸で最初に仕えたときにお庭役であったところから、彼の下僕の永田熊吉が京都で庭師修行をし、その腕が目黒庭園に生かされることになった。即ち、三田上水から水を引き、土地の高低差を生かして二段の大滝と、大・中・小の三つの池に、出島・中島を配し、斜面には屏風のように植栽が巡らしてある。現在のはかつての姿からかなり縮小したとはいえ、西郷山公園の名とともに都内でも有数の名園の一つとして知られている。

従道は、目黒以外にも品川御殿山別邸や西郷那須野の開墾、静岡静浦村別荘の入手等を進め

ては、それ以上の差があるように思う。

まず、前者の小屋組の構造が和小屋に対して、後者は洋小屋<sup>写真5</sup>で中央の真束にキング・ポストを用いて強化しており、母屋桁に直接野地板を打って垂木を省略し、しかも瓦ではなく鉄板葺とし、外壁周りの土台から一mの高さまでを煉瓦積みとし、下部を重く、上部を軽く、と言う耐震構造を意識したらしい点などの違いがある。

このことは、ほぼ設計者であることが確からしいフランス人鉱山技師レスカスのフランス土木学会誌への日本建築の耐震性に関する論文の投稿からも推定されている<sup>註10</sup>。その他にも、彼は明治十年代に横浜で建築設計事務所を開設し、パリの建築錠前店ブリカール兄弟社の代理店を兼ね、実際その金物をフランス窓の錠前などに使用されていることから裏付けられよう。

両者とも初期の木造洋館に通底する簡素なディテール(細部意匠)が特色と言えるが、特に従道邸は建物の軽量化の結果でもある柱の細さと軒飾りの連続する環珞と二階ベランダの手摺子に用いられた切り抜き板が軽やかなリズムと透明な陰影をより効果的に演出しているところに巧みさ、新しさがある<sup>写真6</sup>。

〈次号へつづく〉

註1 参考文献①参照  
註2 参考文献⑥参照  
註3 参考文献①参照  
註4 参考文献②参照

数年前に明治村へ移築された従道邸を訪れたプロ野球選手・金田正一氏(元国鉄スワローズ)が明治村を訪ねられた際に、選手寮として二階の一室を使用していたと懐かしそうに明治村スタッフへ語ってくれた。

註5 参考文献①参照  
註6 参考文献①参照  
註7 参考文献①参照  
註8 参考文献④参照

註9 参考文献③参照  
平山氏は、建築年代と住宅整備のプロセスを既存の関連資料を精査し、当時の新聞報道などの新資料の発見によって、ほぼ確定したと認められよう。本稿はこの二つの事項については、平山氏の論文に負っている。

註10 参考文献④参照  
主な参考文献  
① 西郷従道(元帥) 西郷従道伝一九八一年 芙蓉書房  
② 公益財団法人明治村「博物館明治村五十年史」二〇一八年

③ 平井育男・田西郷従道住宅の建築年代と住宅の整備について(「日本建築学会計画系論文集」第七二八号)二〇一六年  
福田晴慶「日本の民家」洋館一九八一年 学習研究社

④ 財団法人明治村「明治村建造物移築工事報告書 西郷従道邸(東松家住宅)一九七八年  
⑤ 重森三玲「日本庭園史図鑑」第二十巻」一九三七年 有光社

※所蔵者の記載がない写真は博物館明治村所蔵



写真2 西郷従道邸 華麗な舞姫が日本庭園に出現したかのようである



写真5 移築工事中の従道邸

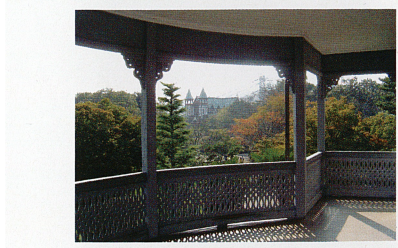


写真6 従道邸2階ベランダ



写真7 従道邸軒飾り



第四高等学校物理化学教室

## 理化学実験場ができるまで 1

### 一 はじめに

本年一月に、第四高等学校物理化学教室内の展示を更新したことはすでに報告させていただいていますが、今回は欧米での自然科学教育がどのように受け入れられ、それがどのように理科教室の建物に反映させていったのかを、人の交流を通して紐解いてみたいと思います。

### 二 理化学実験場を建てた人

一八八六(明治十九)年に施行された学校令(中学校令)に基づき、全国を五つの学区に分け、それぞれに高等中学校が設置されることと



写真4 ウィリアムソン

く教育者として高い評価を得る存在となりました。

五人のうち、伊藤・井上勝・遠藤の三名がウィリアムソンの自宅に、井上馨と山尾はUCL近くの画家・クーバーの自宅に下宿し、UCLに聴講生と言う資格で入学しました。UCLで彼らはウィリアムソンが教鞭を執る分析化学をはじめ、土木工学や地質学や鉱物学を学びました。ウィリアムソンは、五人の語学のハンディを考慮し、UCLの大規模な講義室ではなくパークベック実験室と呼ばれる学生実験室で指導しました。そこでは基礎だけではなく、実際に実験を行うなどして応用力を養い、また当時世界の重工業界をけん引していたイギリスの造船所や工場など見学も積極的に取り入れ、学んだことを現場で確認させていました。

この五人は帰国後、大きく日本を変えていくリーダーとなったことは皆さんご承知のとおりです。

### 2 薩摩留学生(薩摩スチューデント)と化学者ウィリアムソンとの出会い

一八六五(元治二)年四月、薩摩藩が視察員四名、留学生十五名の一行十九名の薩摩留学生(写真5(薩摩スチューデントとも言われる))をイギリスへ派遣しました。一行の視察員には後

なりました。その建設を担ったのが、文部省技師の山口半六と久留正道です。二人のコンビで建てられたとは言うものの、この二人の役割は実際に図面を引くのではなく、各地に設けられた高等中学校建築事務所のスタッフが、与件に沿った形で設計を進めたものを管理していくことだったと思われまふ。それは各地に遺されている図面や棟札から推測することができます。

今回は、学校建築に必要な採光や換気に加え、理科教室としての機能(ドラフトチャンバーや暗幕、そして教室配置など)を十二分に備えた教室を設計することができたのか、探ってみたいと思います。

まずは山口・久留の簡単な略歴を紹介しましょう。

山口半六(写真1)は、松江藩士の子として松江に生まれ、一八七一年に大学南校に入学。開成学校在学中に第二回文部省留学生として一八七六年にフランスへ派遣され、パリの工業中央専門学校で学びます。山口は明治時代にフランスで建築を学んだ数少ない政府留学生の一人です。帰国後は一時、郵便汽船三菱会社(現 日本郵船株式会社)に勤務、その後文部省の技師として採用され、初代建築掛長となり、久留正道とともに、高等中学校や東京音楽学校奏楽堂の設計監督に従事しましたが、病を得て

に寺島宗則と改名し外務卿として活躍した松本弘安、経済界の重鎮となった五代友厚、留学生には博物館(現 東京国立博物館)の初代館長となる町田久成、東京開成学校(現 東京大学)の校長となる畠山義成、初代文部大臣となる森有礼が含まれています。

薩摩留学生の派遣は、藩独自に行ったもので、幕府の許可を得たものではありませんでした。そのため出港の地は、現在の鹿児島県いちき串木野市と目立ちにくい場所を選んでいきます。彼らはJ&M商会の長崎代理店グラバール商会のグラバールが手配した蒸気船に乗り、香港で大型蒸気帆船に乗り換え、約二ヶ月にわたる航海を経て六月にロンドンに到着しました。

薩摩留学生もロンドンでは、長州五傑と同様J&M商会の仲介により、UCLの教員や長州藩の井上馨や山尾が下宿したクーバーの家に分宿し、UCLのウィリアムソンのもとで聴講生として学ぶこととなりました。しかし薩摩留学生は人数が多かったため、長州五傑のように学生実験室で教えることが困難であったため、演示型の大規模な講義室に隣接する準備実

文部省を退職。その後拠点を関西に移し、兵庫県庁の設計や大阪の都市計画に携わりました。久留正道(写真2)は江戸に生まれ、工部大学校の第三期生としてコンドルのもとで建築を学びました。文部省技師となり、山口半六の片腕として、高等中学校等の建設に携わり、山口が文部省を辞した以降は、文部省管轄の指導的立場となり、一八九五年に出された『学校建築図説明及設計大要』を著したと考えられています。

彼らは理科実験場建設に必要な知識をどのような形で得たのでしょうか。

### 三 幕末〜明治初期の留学生

その鍵は幕末〜明治初期の留学生の存在にさかのぼります。

幕末に日本から欧米へ渡った人々には、江戸幕府の使節団や、藩命を受けて出立した留学生がいます。ここでは理化学実験場設計につながる人脈ということで、長州藩、薩摩藩から派遣された留学生について、簡単に紹介します。

#### 1 長州五傑と化学者ウィリアムソンとの出会い

長州五傑(長州ファイブとも言われる)(写真3)は、井上馨・井上勝(野村弥吉)・伊藤博文・山尾庸三・遠藤謙助の五人の総称です。

験室(図1)で指導を行いました。

薩摩留学生からも官民を超えて、近代日本を牽引する人材が現れたことは言うまでもありません。

薩摩留学生が学んだこの演示型の講義室と準備実験室は、まさに明治村へ移築されている第四高等学校物理化学教室の講義室と用意室と呼ばれる準備室の関係(図2)と一致しています。

(次号へつづく)

※ UCLは宗教上の理由によって差別しない無宗教性と実践的な科学・技術の教育を施す点に特徴がある。

#### 参考文献

- 中村元編『日本最初の建築家 山口半六』資料 覚え書き 一九九三 (財) 東方研究会
- 大塚孝明『ヴィクトリア朝英国化学者と近代日本 アレキサンダー・ウィリアム・ウィリアムソン 伝 二〇二五』海鳥社
- 化学史学会編『化学史への招待 二〇一九オーム社』
- Yoshihiko KIKUCHI・ANGLO-AMERICAN CONNECTIONS IN JAPANESE CHEMISTRY” 2013 Palgrave-Macmillan

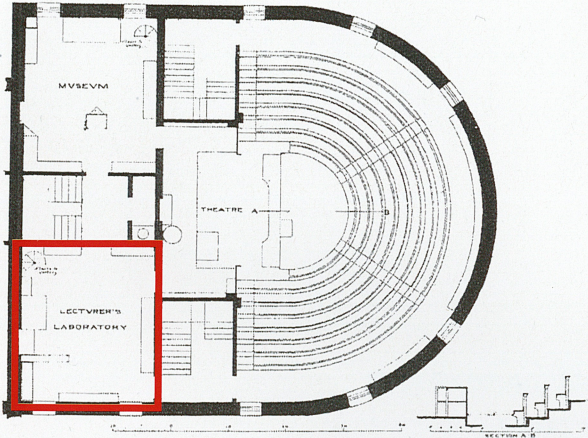


図1 UCLの演示型講義室と準備室(赤枠で囲った部分)

長州藩の近代化を図ることはすなわち日本全体の近代化に繋がるとの考えに基づき、長州藩主からの内命を得、五人は一八六三(文久三)年六月、ジャーディン・マセソン商会(以下、J&M商会と略す)横浜支店支配人ガワラの斡旋により、横浜から上海へ向けて出港し、そこでJ&M商会所有の蒸気船二隻に分乗しロンドンへ向いました。

五人は長旅の末、同年十一月にロンドン到着。その後、J&M商会ロンドン支店支配人マセソンの尽力によりユニバーシティ・カレッジ(University College London)以下、UCLと略すに学ぶことになりました。そこで彼らの教育係となったのが、化学者ウィリアムソン(Williamson, A.W.) (写真4)です。

ウィリアムソンはロンドン生まれの化学者で、イギリス・フランスで学んだ後、ドイツのハイデルベルクでゲメルン(Gmelin, L.)に、ギーンでリービッチ(Liebig, J.)のもとで学びました。イギリスへ帰国後ウィリアムソンはUCLで、当時としては珍しく理論化学と実験化学の二つの分野を教え、研究者としてだけな

浴衣なら  
入村料  
500円  
※宵の明治村  
開催日のみ

# 宵の明治村

8/1(日)、7(土)~15(日)、  
21(土)・22(日)、28(土)・29(日)  
21時まで延長開村!

※入村は20:30まで。 ※一部エリアは17:00まで。  
※荒天時は延長開村中止の場合があります。

金魚  
絵師 深堀隆介  
×  
博物館明治村

## 金魚桶

7/22(木・祝)  
▶9/5(日)  
※休村日を除く

金魚絵師 深堀隆介 展 金魚桶

昨年夏、明治村開村55周年を記念して制作した「五十五の金魚盆」やライブペインティングの際に呉服座の舞台上で描き上げた「半田東湯「金魚障子」」を展示するほか、新たに「五十五の金魚盆」を活用した、体験型デジタルアトラクションをお楽しみください。

時間 / 10:00~16:30(7月・9月)、10:30~16:30(8月)  
※宵の明治村開催日は10:30~20:30

料金 / 展示入館料300円

展示・謎解きセット券1,000円(展示入館+謎解き参加引換券)

会場 / 千早赤阪小学校講堂 協力 / 名古屋造形大学

明治おまつり広場 ※雨天中止

懐かしい遊びで楽しもう。大道芸公演やキッチンカーも出店して会場は賑やか!

※大道芸公演に関する詳細は、明治村公式HPをご覧ください。

時間 / 16:00~20:00 会場 / 札幌電話交換局周辺  
協力 / 中部大道芸ネットワーク

本物の弥富金魚すくい

金魚で有名な弥富市から、出張金魚すくいが登場! すくった金魚は大切に育ててね。

開催日 / 8/14(土)・15(日)、21(土)・22(日)

時間 / 16:30~20:30

会場 / 呉服座周辺 後援 / 弥富市

花火競演 ※荒天中止

ライトアップされた歴史的建造物と、間近で見られる鮮やかな花火との競演をお楽しみください。

時間 / 20:30~

会場 / 帝国ホテル中央玄関前芝生広場付近

野外ステージショー ※雨天中止

時間 / ①19:00~ ②20:00~

会場 / 帝国ホテル中央玄関前芝生広場特設ステージ

◆Dreaming JAZZ ナイト

おしゃれなムードの中、大人からお子様まで楽しめるナンバーをお届けします。

出演 / JAZZ SURVIVOR ※ボーカルは開催日により異なります

◆応援合戦パフォーマンス

フランスのJAPAN EXPOでも絶賛された、一夜限りの応援合戦ステージ! 圧倒的な熱量の群舞は必見です!

出演 / 青春応援団 我無沙羅 和太鼓衆 SHIN

◆書道パフォーマンス

バイオリニストの演奏とともに、「金魚」「明治の涼」をテーマとした迫力ある書道パフォーマンスを開催。

出演 / 書道家:玲泉 バイオリニスト:高嶋 英輔

◆明治偉人隊公演

明治の偉人たちによる歌と踊りのステージショー!

8/8(日)、22(日)は、きそがわポップスバンドの生演奏で共催!

出演 / 明治偉人隊、きそがわポップスバンド(8/8(日)、22(日)のみ)



## 天井にみる建築家・武田五一の数寄ごころ

3丁目 芝川又右衛門邸

芝川又右衛門邸(以下「芝川邸」と略称)は明治四十四(一九一一年)、現在の兵庫県西宮市甲東園に建てられた別荘です。阪神大震災をきっかけに、平成十九(二〇〇七)

年、博物館明治村へ移築されました。芝川邸を設計した建築家 武田五一(一八七二~一九三八)は、この芝川邸を「和」と「洋」の建築様式が混然一体となった新しい建

築となすべく、欧米の建築様式を軸に据えて、外装・内装の随所を和の建築要素で肉付けしています。中でも武田の独特な意匠感覚を示すのが、数寄屋造りの天井です。芝川邸は椅子を使用する室、畳敷の室のいずれも数寄屋造りの和の天井となっており、スパニッシュ・スタイルの壁面等と共存しています。一階の客室・食堂は暖炉を二基備えた洋式の部屋ですが、天井は縁廻りを漆喰塗とし、天井板は網代と葦簀を市松状に配した意匠です(写真1)。網代も葦簀も日本の建築様式のひとつ、数寄屋造りにみられる天井のつくりです。また、両者を市松状に配する意匠も、既に近世初頭の住居建築にみることが出来ます(註)。二階 座敷(暖炉一基を挿入に備えた、床のある畳敷の室)では網代と竿縁を列状に交互に配しています(写真2)。さらに芝川邸の一階 階段室から吹き抜けを見上げると、二階 階段室の格子天井、二階 階段室の竿縁天井、屋根裏の網

代天井が重層して見所を成しています(写真3)。数寄屋造りの住宅建築は、部屋に応じて天井のつくりを変え、杉や竹、葦簀などの自然素材の素材な質感を活かしつつ、趣向を凝らして観るものを愉しませます。芝川邸のヴァリエーションに富んだ数寄屋風の天井は、茶室建築をはじめとする和の建築様式を研究しつつ、ヨーロッパ留学経験などで欧米の建築様式を熟知し、新しい建築様式を模索した武田の挑戦と数寄ごころを如実に示しているのです。

註 慶安二(一六四九年)竣工の、紀伊徳川家初代頼宣の別荘「臨春閣」(重要文化財、大正六年に神奈川県横浜市中区三溪園内に移築)二階 村雨の間の天井。  
主な参考文献 『武田博士作品集』編集 発行 武田博士還暦記念事業会 便利堂一九九三年 『建築大辞典』監修 岡田 豊 一九七七年 『明治村建造物移築工事報告書 第二集 芝川又右衛門邸博物館明治村』二〇一〇年



写真1



写真2



写真3

リアル謎解きゲーム×博物館明治村

## 金魚姫ともう1つの金魚祭

この世界は、金魚しかない——

今日は楽しい金魚祭り。しかし、祭り会場に向かう途中であなたは不思議な世界に迷い込んでしまう…。そこは「モノハナ」と呼ばれる巨大な金魚が泳ぎ回る世界だった。白い着物の少女・金魚姫に呼び止められたあなたは、衝撃的な言葉を聞く。「人間がこの世界にいてはダメ。二度と戻れなくなるわ! 今日中に元の世界へ戻る方法を探さなくては……! 金魚になりますますためのお面を身につけて、この世界の謎を解き明かし、元の世界へ戻ろう。」

- ① 受付でミッションシートを購入し、スタート!
- ② 様々な場所でミッションにチャレンジしよう。
- ③ 金魚のお面をかぶりながら、ストーリーを解き進めよう。
- ④ すべてのミッションをクリアしたら、受付で報告しよう!

※歴史的建造物を活用したアトラクションのため、一部バリアフリーではない場所がございます。あらかじめご了承ください。

7/22(木・祝) ▶9/5(日) ※休村日を除く  
受付 / 正門・北口付近特設  
時間 / 9:45~16:30(7月・9月)、10:15~16:30(8月) ※宵の明治村開催日は10:15~20:30  
料金 / 参加料800円 展示・謎解きセット券1,000円(謎解き参加+展示入館引換券)